

プレスリリース [ 令和6年1月25日 ]

(計 1枚)

## 第32回全国救急隊員シンポジウムで 4年連続 加賀市消防本部が選ばれ発表を行います

全国救急隊員シンポジウムは、全国の救急隊員等を対象とした実践的観点からの研究発表や最新の医学知識を学ぶ場を提供することにより、消防機関の行う救急業務の充実と発展に資することを目的としています。(シンポジウムHPより一部抜粋)

今年で第32回を迎え、全国から多くの消防機関を中心とした医療従事者が参加する大規模で歴史あるシンポジウムです。全国の消防機関の注目度も高く、本シンポジウムの演題発表には査読委員会における厳正な審査があり、当市消防本部の救急活動や検証成果が採用されたことは大変意義あることです。

なお、本症例の発表に際しては、河中拓郎救急救命士が発表内容を作成し、石川県立中央病院の救命救急センター長である、明星 康裕 (みょうじょう やすひろ) 医師より監修をいただいています。

記

### 【第32回全国救急隊員シンポジウム概要】

開催日 令和6年2月1日(木)、2月2日(金)  
開催地 愛知県名古屋市  
会場 名古屋国際会議場 (名古屋市熱田区熱田西町1番1号)  
主催 名古屋市消防局 一般財団法人救急振興財団

### 【加賀市消防本部の発表について】

発表時間 令和6年2月2日(金) 10時45分～  
発表内容 重機での労働災害によりターニケットを使用した症例を経験して  
発表者 加賀市消防本部 大聖寺分署  
救急救命士 河中 拓郎 (かわなか たくろう)  
発表会場 名古屋国際会議場 第2会場 (白鳥ホール北)

本件へのお問合せ先  
加賀市消防本部 大聖寺分署 担当：河中 TEL 0761-73-0119